

スポット企画展

生誕 110 年

久藤達郎展

久藤達郎戯曲集

久藤達郎戯曲集

津軽書房刊

『久藤達郎戯曲集』(津軽書房 昭和41年)カバーより



令和 6 年

7月10日～9月23日

弘前市立郷土文学館

【開館時間】9:00～17:00 (入館は16:30まで)

【観覧料】一般100円、小・中学生50円

(弘前市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、ひろさき多子家族応援バスポート持参の方は無料)

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町2-1 (追手門広場内)

TEL 0172-37-5505 FAX 0172-36-8360 Email kyoudo@city.hirosaki.lg.jp



『戯曲 明治の学校』

津軽書房 昭和41年9月1日

明治期の日清戦争前夜を時代背景に、教育のあり方を真摯に問うた物語。昭和41年、劇団雪国が弘前市民会館で上演した。



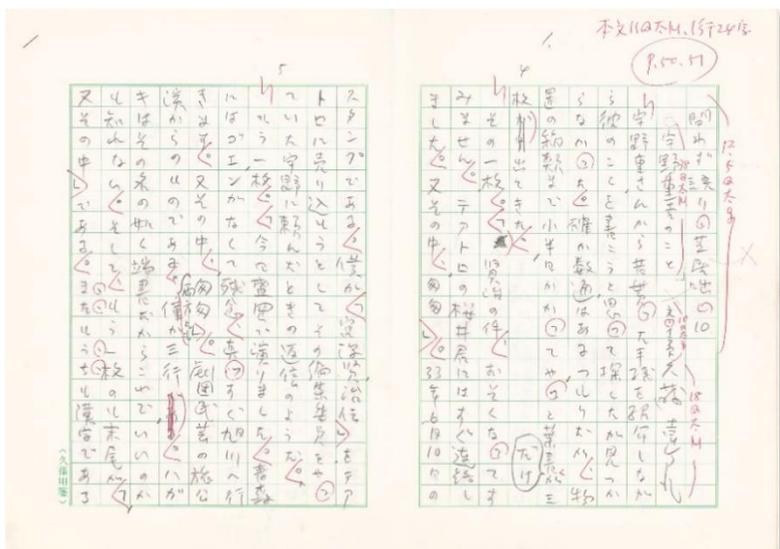
『久藤達郎戯曲集』

津軽書房 昭和41年1月10日

久藤の戯曲「たらちね海」「東風の歌」「シガマの嫁コ」など9作品と小説「綾足伝」が収録されている。

久藤達郎（大正3年〜平成9年・青森市）は、戦中戦後にかけて中央演劇界で劇作家として活躍しました。昭和十八年、「たらちね海」で国民演劇脚本情報局賞を受賞。演出・里見弾、出演・宇野重吉、千秋実らが上演し、後に映画化もされました。同年、代表作となる「東風」（戦後「東風の歌」と改題）を發表します。翌十九年、弘前高等女学校（現・県立弘前中央高校）に赴任。戦後は高校の教員として、青森県の高校演劇、市民演劇に大きな足跡を残しました。

本展は、久藤達郎の戯曲関係の資料を中心に展示し、小説・随筆・詩なども含め、その文学的業績を紹介するものです。



原稿「問わず語り・芝居話10 宇野重吉のこと」

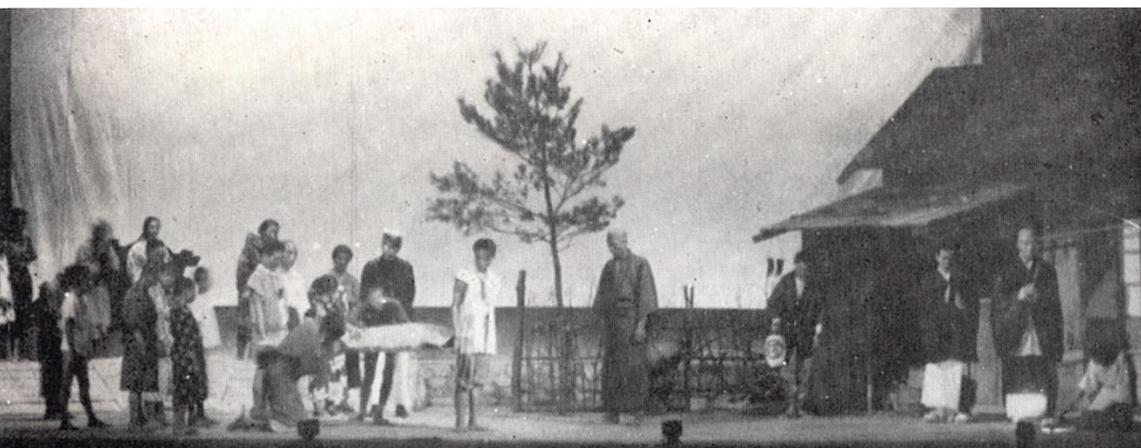
若き日に、久藤の作品「たらちね海」に出演した名優・宇野重吉にまつわるエピソードが記されている。本文は『月刊弘前』に掲載され、『ぼくの風景』（津軽書房・平成8年）に収録された。



千秋実・佐々木踏絵『わが青春の薔薇座』

リヨン社 平成元年5月25日

千秋実は、戦後いち早く薔薇座を立ち上げ、第1回公演「新樹」、第2回公演「東風の歌」と、久藤の作品を上演した。名優・千秋実と妻・佐々木踏絵による若き日の苦闘の記録。



「たらちね海」舞台風景
昭和18年・邦楽座

昭和18年、久藤は「たらちね海」で国民演劇脚本情報局賞を受賞。里見弾が演出、宇野重吉・千秋実らが出演し、邦楽座で上演された。